

# 令和6年度第3回学校運営協議会次第

日時 令和6年11月16日(土) 13:30~15:00

場所 多摩市立永山小学校 2階 家庭科室

出席者 富岡(地域防災)、榎原(永山児童館長)、太田(主任児童委員)針尾(こぐま保育園長)、  
秋間(錦秋幼稚園長)、校長、副校長、青木、田後

司会 全体司会 会長石川様

学校報告進行教務主幹 青木

記録 CS担当 田後教諭

## 1 校長挨拶 5分

- ・地域防災へのご協力、ありがとうございました。
- ・延期になっていた花火大会が開催され、児童も保護者も喜んでいました。
- ・地域の方々の協力があり、総合的な学習の時間は児童も教諭も興味をもって取り組むことができていました。
- ・ながりんピックは、子供たちの主体性を大切にして取り組んできました。
- ・11月14日~16日の3日間、オープンデーとして多くの保護者が参観に来た。
- ・地域防災、東京消防庁から表彰。
- ・2月には展覧会(永山カラフル美術館)がある。
- ・木村副校長10月22日から約2ヵ月間、3年1組の担任として入り、時間講師や他の教員がバックアップ体制をとっている。

## 2 内容

### (1) 第1回教員評価アンケート結果報告について(青木主幹教諭)

全体的に職場環境の改善に対する意見が多かった。働き方改革や、仕事の効率化を考えていることがうかがえる。今後は児童に直接還元できるようなことをお示ししたい。

### (2) 学力・学習状況調査の結果と授業改善プランについて(青木主幹教諭)

①算数…本校は概ね東京都の平均を上回った。全国、東京都と比較して正答率が低かった問題は除数が小数の問題。整数÷小数は5年生で学習する内容。割り算の筆算時に位をそろえて書かないために起こる計算ミス、言葉を映像として考えられない、身近に小数がないなど原因は様々考えられる。言葉を映像として考えるイメージトレーニングをすること、ノートを丁寧に書くことや、基礎・基本的な算数の力をつけること、問題を図に表すなどして具体的な場面と式を理解することが大切である。

②国語…本校は概ね東京都平均程度だった。全国、東京都と比較して正答率が低かった問題は目的や意図に応じて、事実と感想を区別して書けなかったところ。簡単に言うと聞かれたことに答えてないということ、問題を理解していない。話を聞いていないということである。取り上げた事実が自分の考えを裏付けになっているかを振り返り事実と考えとの関係を明確にするということ。簡単に言うと、自分の意見に根拠をもつ。また、書いた文章を児童同士で目的をもって読み合う場面も効果的だと考えられる。また、全国学力調査の結果を基に、授業改善推進プランを作成しホームページに掲載している。各学年、各教科に分かれているのでここでの紹介は割愛しますが、時間のある時にHPにて確認してほしい。

(3) ながりんピック（運動会）について（田後教諭）

今年度、運動会を担当させていただいた。異動してきた年の運動会委員長だったため、前年度の様子を残っている人たちに聞きながら計画を立てていった。永山小学校の良さである児童の主体性を大切にしながら準備を進めた。中学年では、途中に使った曲の振り付けを、子供たちが考えた。

運動会委員長を務めていて、教員同士の協力体制が素晴らしいと感じた。また、校長・副校長も相談がしやすく、お互いに提案をしながら運動会の準備をすすめてきた。永山小の教職員や児童が一体となった運動会になったと思う。

来年度は、今年度の反省を生かし、さらによりよい運動会になるようにしていきたい。

(4) 永山カラフル美術館（展覧会的な行事）について（柳原主任教諭）

永山カラフル美術館について、子供たちから意見を吸い上げ、子供たちの思いや考えを大切に名称やスローガンを決定した。作品は児童が作成中の為、お見せできないが、当日にご来校いただき、作品を楽しんでいただきたい。

- ・針尾…子供たち同士が作品を鑑賞し合う時間を大切にして、上級生の作品から感動をもらえるようにしてほしい。
- ・石川…子供たちの自主性が素晴らしい。
- ・秋間…作品の鑑賞を通して、子供たちが親や教師と会話できる機会にしてほしい。
- ・榎原…作成したポスターを校外に掲示する場合には、児童館も協力できる。

(5) 意見交換・情報共有（各委員）30分

◎地域防災デーについて（富岡）

小学校の児童と一緒に防災について学んでいるという活動が特徴。地域が小学校と一体になって活動したことが、東京消防庁から表彰されるに至った。年々協力してくれる人が増えている。今年度は協力者が多く、ヘルメットが足りなくなるほどだった。「災害が起きたらどうしよう。」という問題意識から、自分たちにできることを考えることが大切。6年生から、「自分を守るという意識から、他人を助けようという意識に変わった。」と感想をもつ児童がいた。今後も続けていきたい。

- ・太田…思った以上に大人が参加していた。災害時には大人も子供も関係なく行動しなければならないという意識が見られた。
- ・石川…子供たちの防災への意識の高まりがみられた。防災用品の過不足の確認をしたり、10Lの水の重さを体験したりして、毎年の積み重ねをしていきたい。

◎児童館長から（榎原）

運動会では、応援団が素晴らしかった。異学年での交流が増えてきた。児童館では、1～6年生が入り混じって鬼ごっこをして遊んでいる。とも～るまつりも盛況で終えることができた。自分たちで考えて行動することができている。

◎こぐま保育園長から（針尾）

多摩市は子供が減ってきている。保育だけをやっていていいのか。学校や児童館と、タイアップする必要があると考えている。児童館は、子供たちが巣立った後の助けの場になる。様々な公的機関と連携して活動の幅を広げていきたい。保育園は、1年生への接続だけでなく、2年生までも見据えて計画を立てていく必要がある。保育園は、学校入学への準備だけではなく、学力や学校生活に直結するように、学校とタイアップして保育をしていこうと考えている。

◎錦秋幼稚園長から（秋間）

幼・保と小学校では、座った状態での活動の時間の長さに差があり、小学校入学に際してギャップを感じる場所である。年長と1年生が繋がれるとよいと考えている。健康を大切に。子供と職員が心も体も健康であり続けられるようにしたい。

◎主任児童委員から（太田）

放課後子供教室や地域未来塾で子供たちを見ているが、文章問題が嫌いなようだ。計算問題だけならやるが、文章問題はやりたがらない。文章や文字を読むのが嫌と言っている。字を読んで内容を理解することに課題が見られる。放課後子供教室で見守りをしている大人が高齢。子供たちが走っていても、見守り者は走れない。大人は名札をしているが、子供たちは名札をしていないため、名前が分からない。放課後子供教室の時だけでも名前が分かるようにしてほしい。

◎青少協会長から（石川）

11月12日の地域運動会。帝京の学生が来てくれて、子供たちも楽しく過ごすことができた。11月1日（金）の花火大会は、小雨が散らついていたが、最後まで行うことができた。

校庭解放の団体にも協力してもらい、落ち葉拾いを行った。感謝の気持ちをもって子供たちも活動していた。

中学校では、定期テストが終わる日に花火大会を行うことが恒例になっている。生徒会が花火の袋詰めをしてくれた。中学生になると、参加するだけでなく、運営にも携わる生徒が増えてきた。

運動会が、子供たちの運営によってすすめられていたことが良かった。子供たちの力が発揮されているように感じた。

### 3 次回について

#### 第4回目

2月8日（土）13:30～15:00（永山カラフル美術館の午後）

#### 議題

- （1）学校評価書について（青木主幹教諭）
- （2）教員評価アンケート結果報告について（青木主幹教諭）
- （3）令和7年度の教育課程について【承認事項】（青木主幹教諭）
- （4）授業改善（道徳の取り組み）について  
（鬼頭教諭・小川教諭）15分
- （5）審議（承認事項について）・意見交換・情報共有（各委員）

※欠席する場合は、副校長に電話等で連絡をお願いします。